

2020 開催



燃ゆる感動 かがしま国体

第75回国体大会 熱い鼓動 風は南から 2020

世界有数の活火山である桜島や明治維新を成し遂げた偉人に象徴される熱く情熱的な鹿児島。

昭和47年以来、48年ぶりにこの地で国体が開催されます。

2020東京オリンピック開催を追い風に

アスリート達の熱気あふれるパフォーマンスや県民の心のこもったおもてなしが

熱く燃えるような感動を呼び起こす国体を目指します。

熱戦を繰り広げるアスリート達の熱い鼓動と会場に響きわたる歌声が

鹿児島から南の風に乘って全国に広がってほしいという思いを胸に
もう、準備は始まっています。

平成32年(2020年) 第75回国体大会

75 回目

人・地域を結ぶ、競う「国民体育大会」 ～ 国内最大のスポーツの祭典 ～



国体は、戦後の荒廃と混乱の中で、スポーツを通して国民に勇気と希望をあたえようと昭和21(1946)年に京都府を中心とした京阪神地区で第1回大会が開催されました。以来、各都道府県の持ち回り開催となり、国内最大のスポーツの祭典として地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにするスポーツ文化の形成に貢献してきました。

昭和63(1988)年の第43回京都国体から2巡目を迎え、現在に至ります。鹿児島では、昭和47(1972)年の第27回国体大会「太陽国体」以来、平成32(2020)年には、48年ぶりに第75回国体大会「燃ゆる感動かがしま国体」が開催されます。

平成32年(2020年) 第75回国体大会

43 競技

選手のプライドを観る・感じる ～ 郷土の誇り・選手達の真剣勝負 ～

正式競技では、都道府県対抗で天皇杯(男女総合優勝)、皇后杯(女子総合優勝)を巡る熱戦にも期待。もちろん、地元鹿児島は総合優勝を目指します。

観てみたかったスポーツや国内トップ選手達の試合を身近に観戦できるのも魅力です。

正式競技(37競技)	陸上競技 水泳 サッカー テニス ボート ホッケー ボクシング バレーボール 体操 バスケットボール	レスリング セーリング ウエイトリフティング ハンドボール 自転車 ソフトテニス 卓球 軟式野球 相撲	馬術 フェンシング 柔道 ソフトボール バドミントン 弓道 ライフル射撃 剣道 ラグビーフットボール	山岳 カヌー アーチェリー 空手道 なぎなた ボウリング ゴルフ トリアスロン
特別競技(1競技)	高等学校野球(硬式・軟式)			
公開競技(5競技)	綱引 武術太極拳	パワーリフティング ゲートボール	グラウンド・ゴルフ	
デモンストレーション スポーツ	地方スポーツの振興、国民の健康増進・体力の向上等をはじめ、国民のスポーツ振興を図るため、県内居住者を対象として実施する競技			

(第75回国体大会「燃ゆる感動かがしま国体」における鹿児島予選開催(平成28年)7種目)

平成32年(2020年) 第75回国体大会

1972 太陽

よみがえる。あの日、あの時の感動 ～ 昭和47年「太陽国体」～



昭和47(1972)年、鹿児島県で初めて国体が開催されました。第27回国体大会「太陽国体」は、「明るくたくましくうるわしく」のスローガンのもと、県内21市町で31競技が実施され、まさに県民総参加で大いに盛り上がり、鹿児島県は天皇杯(男女総合優勝)・皇后杯(女子総合優勝)を獲得しました。

平成32年(2020年) 第75回国体大会

19,082 名

1972年の太陽国体参加選手・監督数

太陽の地で輝いた選手たち ～ 太陽国体総合優勝を達成! 大活躍した鹿児島県選手団 ～



昭和47(1972)年に本県で開催された第27回国体大会「太陽国体」では、全国47都道府県から19,082名の選手・監督が鹿児島県に集い、技を競いました。その中で、鹿児島県選手団は日頃磨いた実力を存分に発揮し、念願の男女総合優勝、女子総合優勝で天皇杯・皇后杯を獲得しました。中でも庄巻は軟式テニス史上初の「五冠」完全優勝。前人未踏の快挙を成し遂げました。女子選手や高校勢選手の活躍も目立ち、鹿児島県の高橋選手を最大限発揮した大会となりました。

「太陽」総合優勝を達成した軟式テニスチーム

平成32年(2020年) 第75回国体大会

実物のパネルは
A1サイズです。